

平成 30 年度 第 3 回千曲市地域公共交通活性化協議会 会議概要

期日：平成31年1月30日（木）午前10時00分～午後12時00分

場所：千曲市役所 集団指導室

出席者：委員出席19名（4名欠席）、事務局4名

会議事項

（1）千曲市地域公共交通網形成計画（素案）について

千曲市地域公共交通網形成計画（素案）について資料1に基づき、事務局・計画策定支援事業者（特定非営利活動法人 SCOP）より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

（高村委員）家族送迎者への MM とあるが、企業向けにも利用促進事業を入れていった方がよい。

（事務局）事業に盛り込みたい。

（北島委員）評価検証とあるが、評価検証は誰が実施するのか。見直しをする主体は誰か。

（事務局）事業全体の評価をするのは、この協議会である。地域の路線については、地域で実施したいと考えている。その結果を当協議会にあげ、決定する。幹線など全市的なものとは市で実施する。

（新井委員）運行事業者と交通事業者はどのように違うか。

（事務局）運行事業者とは千曲市の循環バス等を運行している事業者、交通事業者とは市内で交通事業を営んでいる事業者を指す。計画書に注釈で入れたい。

（新井委員）評価検証において、タクシーの利用状況についても収集するということか。

（事務局）収集するようにしていきたい。タクシーについても公共交通と位置づけている。

（〇〇委員）地域公共交通の実施主体について、具体名が書いてある箇所と交通事業者と記載してある箇所がある。どのように使い分けているか。

（事務局）具体的に実施する事業者が想定されるものは事業者名を記載している。

（浦沢委員）事業費を現状以下としながら、公共交通便数を増やすというものは事業者に泣けと言ふことか。

バスロケーションシステムと IC カードについては、千曲市の循環バスに導入するのか。

（事務局）幹線の運行頻度と事業費の関係は、幹線は充実させるが、利用が少ないところは削減する。

KURURU やバスロケは市で検討していきたい。メリットデメリットを検証し、導入の是非を検討していきたい。

（新井委員）ここに、8600 万円以下という目標があることで、事業費削減の原因となってしまう。計画に事業費は明記しなければいけないのか。

（北島委員）8600 万円の事業目標は削除してはどうか。

（事務局）明記しなくてはならないということはない。ただし、限りある資源で公共交通を整備するということを目録化したい。青天井で予算をもうけるとはものではない。

（事務局）事務局として再度検討したい。

(2) 平成31年度循環バス等のダイヤ改正について

来年度のダイヤ改正について、資料2に基づき、事務局より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

(新井委員) A4版A5仕上げとはどういうものか。また、記載事項はどのようなものか。

(事務局) サンプルを示して解説。

記載事項は、料金、販売所等である。路線図は記載しない。

(高村委員) サービスレベルはどのように変わるか。

(事務局) 今回はJR、しなの鉄道の時刻改正に対応したもので、変わらない。

(3) 地域公共交通確保維持改善事業の一次評価について

一次評価(自己評価シート)について、資料3に基づき、事務局より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

(山田委員) 利用者数については目標に達していない。デマンド登録者への柔軟な対応を具体的に記載できないか。

(事務局) 改善したい。

(4) 『千曲市語り部タクシー』事業の実施について

『千曲市語り部タクシー』事業の実施について、資料4に基づき、事務局より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

特になし

以上